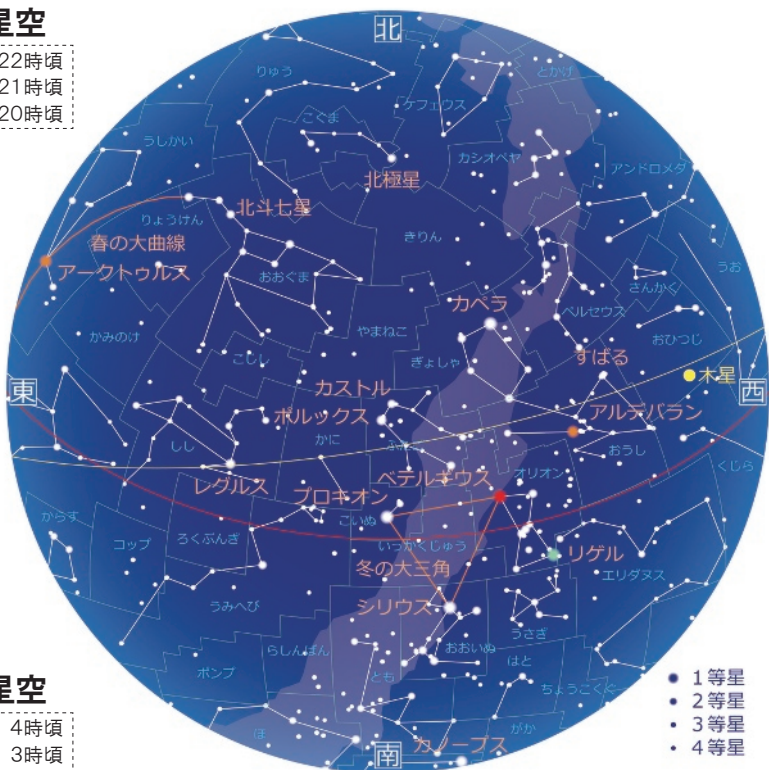


# 星空ガイド 2月16日～3月15日

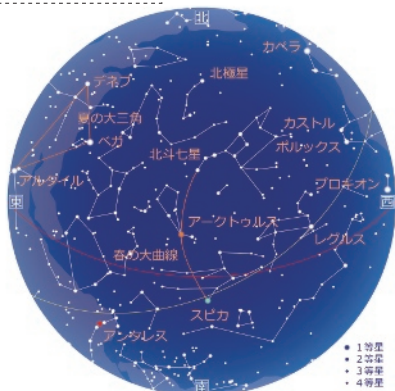
## よいの星空

2月16日22時頃  
3月1日21時頃  
15日20時頃



## あけの星空

2月16日 4時頃  
3月1日 3時頃  
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
2	16	6:43	17:41	10:24	--:--	6.2
	21	6:37	17:45	14:34	4:51	11.2
	26	6:32	17:50	19:25	7:23	16.2
3	1	6:27	17:53	23:15	8:59	20.2
	6	6:20	17:58	3:25	12:53	25.2
	11	6:14	18:02	6:46	19:06	0.7
	15	6:08	18:05	8:58	23:53	4.7

※惑星は2024年3月1日の位置です。

**カノープスを見る季節がやってきました！**

今年も、りゅうこつ座の一等星カノープスが見られる季節がやってきました！

カノープスの明るさはマイナス0.7等と、全天21個ある一等星のうちシリウスに次いで二番目に明るい星です。しかし、大阪では南の空かなり低いところで輝くため、ナンバー2の星の割にはとても見えづらい星なのです。中国では、南極老人星とよばれ、見る人ができた人は長生きができる、という言い伝えもあるほどです。

2月中旬であれば夜9時頃、3月上旬には夜8時頃、南の方角にあまり高い建物が無い場所で、ぜひチャレンジしてみてください。まず目印にするのは、オリオン座のベテル

ギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンをつないでできる冬の大三角です。ベテルギウスとプロキオンを結ぶ線の中央とシリウスをつないで、その線を地平線近くまでのばしていくと、カノープスにたどり着きます。ただし空が晴れていても、地平線近くは街明かりや水蒸気の影響でもややして、見えないこともよくあります。肉眼で見つけられない場合は、ぜひ双眼鏡でも探してみてください。



図. 3月1日 20時00分頃の大阪の空

※ステラナビゲーター10にて作図

**【こよみと天文現象】**

月	日	曜	主な天文現象など
2	16	金	月とすばるがならぶ
	17	土	●上弦(0時)
	19	月	雨水
	22	木	金星と火星が接近
	24	土	○満月(22時)
	26	月	月が最遠(406,312km)
	28	水	月とスピカが接近
	29	木	土星が合

月	日	曜	主な天文現象など
3	4	月	●下弦(0時)
	5	火	啓蟄
	8	金	月と火星がならぶ
	10	日	●新月(18時)/月が今年最近(356,895km)
	11	月	夕空の低空に月と水星がならぶ
	14	木	月と木星がならぶ
	15	金	月とすばるがならぶ

西野 藍子(科学館学芸員)